



料理に込められた想いを届けるために



第十七回模擬結婚披露宴実行委員

デシヤップ

二年 長崎 麻衣 さん

〔訓練先〕シエラトン鹿児島

私は今回の模擬結婚披露宴で、デシヤップを担当しました。デシヤップとは、料理の提供タイミングを調整し、厨房と会場のサービススタッフをつなぐ非常に大切な役割です。通常の訓練では経験することのないポジションだったため、当日までは「自分に務まるだろうか」と不安でいっぱいでした。しかし、サービススタッフの仲間たちが積極的に確認の声をかけあい、同じデシヤップ担当の一年生が率先して準備やダブル

チェックを行ってくれたおかげで、本番では安心して業務に集中することができました。今回の経験を通して、周囲と密に連携しながら動くことの大切さや、チームにおけるコミュニケーションの重要性を肌で学ぶことができました。今後この経験を糧に、どのようなポジションでも周囲を見て積極的に行動できるホテルパーソンを目指したいと思います。

エリザベス 二年 里之園 彩香 さん

〔明桜館高校卒〕

〔訓練先〕城山ホテル鹿児島 城山ガーデンズ水産

私は今回の模擬結婚披露宴で、来賓卓のエリアリダーを務めました。昨年に引き続き来賓卓の担当となったため、前回の反省点をしっかりと活かせるよう、日々の練習から課題や改善点を洗い出してきました。また、一年生にも的確に動いてもらえるよう伝え方を工夫し、エリア全体での細やかな情報共有を徹底しました。時には先輩へ厳しい言葉をかける場面もありましたが、「披露宴を成功させたい」という想いは全員共通だったため、チーム一丸となって同じ目標に向かって練習に取り組むことができました。本番では、サブリーダーとお客様のお食事の進み具合を常に共有



課題を見つけ、チーム力で乗り越える



し、連携を取携を取りながらサービスを提供しました。その結果、大きなミスなく無事に大役を終えることができ、自身の確かな成長と大きな達成感を味わうことができました。



ウエルカムドリンクに込めたおもてなし。昨年の自分を超えられた一日！



パークウインター

二年 有馬 碧里 さん

〔川薩清修館高校卒〕

〔訓練先〕ホテルセイブアックス

から手をつければよいか戸惑うこともありましたが、実行委員のメンバーや先生方からアドバイスをいただきながら、形にしていけることができました。本番当日はウエルカムドリンクのご案内を担当しました。乾杯のファーストドリンクの提供では少し慌てる場面もありましたが、アルコールとノンアルコールを確実に見極め、正確に提供することができました。また、昨年の自分の経験を活かして一年生をサポートしながら動くことができ、確かな自身の成長を実感できた一日となりました。



ひとくちメモ

シンクロサービス

本校の学生たちが日々の練習で目指している究極のスタイルが「シンクロサービス」です。これは、テーブルを囲むゲスト全員に、同じタイミングで料理を提供する高度なテクニックです。アーティスティックスイミングのように一糸乱れず、ほぼ同時に料理がテーブルに並びます。

〔シンクロサービスが「究極」と呼ばれる理由〕

○ゲストに気遣いをさせない空間づくり

全員の料理が同時に提供されるため、「他の人の料理を待つ」といった同席者への気遣いが不要になります。全員が一番美味しい状態で食事を始められる環境を作り出します。

○高度な技術力と完璧な連携

実現には、デシヤップ（厨房との窓口）とホールスタッフのシームレスな連携、スタッフ同士の「呼吸」を合わせることが不可欠であり、一人ひとりの高度な技術力が求められます。

○受け継がれる伝説のサービス

国賓を迎える晩餐会等にも用いられ、現在も最高峰のサービスとして受け継がれています。本校の学生は、この最高峰のスタイルでお客様に感動をお届けするため、日々の練習で技術とチームワークに磨きをかけています。

デシヤップ（料理コントロール）

厨房とホールを連携させて、速やかにお客様に料理を提供する役割。デシヤップには、ホール全体の流れをとらえて同時に複数のことが考えられる力、先を読み、段取りができる力、周りのスタッフに的確な指示を出せるコミュニケーション力等が必要とされます。

入学試験案内

総合型選抜

面接試験日 第2回 8/29(土) 第3回 9/26(土)

エントリーシート受付 第2回 8/26(水) 第3回 9/25(金)

推薦入試

入学選考日 10/10(土) 11/7(土) 12/12(土)

入学願書 10/1(水) 受付開始

厚生労働省・県知事認定校 職業訓練法人 鹿児島観光技能訓練協会

鹿児島ホテル短期大学校

〒892-0846 鹿児島市加治屋町4番25号 FAX 099-226-2801

E-mail: khc@nissho.ac.jp https://hotetan.ac.jp/

お問い合わせ、オープンキャンパスのお申し込みは

TEL 099-239-2601

ホテタン

30・31期生で創りあげた挙式・披露宴

テーマ『平成レトロ』

ホテ短通信

HOTETAN

発行所 鹿児島ホテル
短期大学校
発行責任 KHC企画広報部
編集 松尾・鞍掛・福山
種村・近藤
ホテ短アドレス
<https://hotetan.ac.jp/>
所在地
〒892-0846
鹿児島市加治屋町4番25号
Tel. 099-239-2601

夢と希望をかなえる場所
未来につながる二刀流

七月十八日(土)、シェラトン鹿児島にて「創立三十周年記念第十七回模擬結婚披露宴」を開催いたしました。「平成レトロ」をテーマに掲げ、新郎新婦への祝福とご来場のお客様への感謝を胸に、学生全員が一丸となって創り上げた集大成です。特集第二号となる今号では、華やかな本番の様子をはじめ、当日を迎えるまでの学生たちの軌跡をリアルな感想とたっぷりの写真とともにお届けします。



新婦を一番美しく見せるために、初めての介添えで学んだ気配りと判断力！



一年上原 七美 さん
(鹿児島情報高校卒)
【訓練先】城山ホテル鹿児島
(ベネクト)

今回の模擬結婚披露宴において、私は挙式の介添えを担当しました。本番で新婦が着用したドレスは練習用のものと異なり、想像以上に動きの制限があったため、介添えの難しさを肌で感じました。初めての経験ということもあり、動くタイミングや立ち振る舞いには大いに苦戦しました。それでも本番では、ドレスを最も美しく広げ、新婦がより一層輝くよう見せ方にこだわってサポートをやり遂げました。会場に足を運んでくださった高校生の皆さんが笑顔で楽しむ姿を見た瞬間、すべての苦勞が報われたと感じました。この経験が

ら、介添えには状況に応じた臨機応変な「判断力」と、細やかな「気配り」が不可欠であると学びました。今回得た大きな財産を今後の実習や現場での学びにもつなげていきたいです。



ひとくちメモ
アテン(介添え)

新郎新婦が会場に到着し、挙式・披露宴を終え、無事に玄關を出るまで、目立たぬよう優しく付き添い、見守る担当。動きづらい衣装を着た新婦をサポートしたり、席を立つタイミングを伝えたり、式次第に精通した介添人が晴れの舞台に立つ新郎新婦をしっかりとフォローします。



涙溢れたエンドロール
全員で創り上げた一生の宝物！

撮影のスケジュール調整や急な撮り直しなど、大変な場面も多々ありましたが、誰一人として嫌な顔をせず、快く協力してくれた仲間たちには感謝の気持ちでいっぱいです。披露宴の最後を飾るエンディングの楽曲には、映像班で何度も話し合った末に、高橋優さんの『福笑い』を選びました。私たち三十期生ならではの明るさと、固い絆が一番伝わる曲だと感じたからです。本番当日、完成した映像が会場に流れた瞬間、これまでの準備の日々が頭をよぎり、感動で涙が止まりませんでした。楽しいことも苦しいことも全員で乗り越え、力を合わせて創り上げたこの模擬結婚披露宴は、私にとって一生の宝物です。



支え合って乗り越えた緊張のフーズ！
お客様の方に寄り添うサービスを学んだ日！



一年上高原 舜人 さん
(指宿商業高校卒)
【訓練先】鹿児島サンロイヤルホテル
(フレストラントリアン)

模擬結婚披露宴において、私は新郎役を務めさせていただきました。当初は人前に立つ緊張がありましたが、自分の時間を削って親身にアドバイスをくれた仲間たちの存在やスタッフが協力し合って式を作り上げる姿に背中を押され、最後まで堂々と役割を果たすことができました。新郎という「お客様の立場」を経験したことは大きな収穫です。新郎新婦がどのような不安や期待を抱いているのかを肌で感じ、それに寄り添うサービスの大切さを深く学ぶことができました。

できました。この経験と仲間への感謝を胸に、来年は、より質の高い模擬結婚披露宴を作り上げたいと思います。

